

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：一般国道368号 <small>にがきとうげ</small> 仁柿峠バイパス 起終点 ：自：三重県松阪市飯南町峠 <small>まつらかしのいんなんちやうつかみにがき</small> 至：三重県松阪市飯南町上仁柿	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：三重県 延長 ：3.9 km	
事業概要 ：国道368号は、伊賀市から多気郡多気町に至る延長約72kmの幹線道路であり、三重県内陸部において伊賀地域と松阪地域及び南勢地域を結び、この地域の交流・連携を支援する上で重要な役割を担う路線です。仁柿峠バイパスは、幅員狭小で屈曲した線形の現道未改良区間の2車線化を図る事業です。			
H 2年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 2年度用地着手	H 4年度工事着手
全体事業費：90億円		事業進捗率：35%	供用済延長：0.4km
計画交通量：1,200台/日			
費用対効果 分析結果	B/C：(事業全体) 1.6 (残事業) 2.6	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 56 / 88億円 (事業費：54/86億円 維持管理費：2/2億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 143 / 143億円 (走行時間短縮便益：131/131億円 走行費用減少便益：10/10億円 交通事故減少便益：2/2億円)
基準年 ：平成17年			
事業の効果等 ： <ul style="list-style-type: none"> ・国土・地域ネットワークの構築・・・現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消 ・災害への備え・・・緊急輸送道路としての位置づけあり <div style="text-align: right;">他5項目に該当</div>			
関係する地方公共団体等の意見 ： <p>当該道路は、一般国道368号整備促進期成同盟会が結成されており、当該事業の早期完成を強く要望されています。</p>			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ： <p>松阪市に木材コンビナート施設が平成15年度に完成し、木材運搬車両が増加しています。</p>			
事業の進捗状況、残事業の内容等 ： <p>平成17年度末で35%の進捗であり、平成9年度には現道と接続する380mを供用開始しています。</p>			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ： <p>当路線は全体的に脆弱な地質であるため、法面对策工に多大な事業費を費やしている。今後の施工区間についても地滑りや斜面崩壊に対する要注意地形が確認されたことから、事業停滞の要因となっている法面对策工を減らすべくルート計画の変更を検討しています。</p>			
施設の構造や工法の変更等 ： <p>当路線は、山腹を切土盛土しながら道路を構築するため、工事施工にあたっては施工順序の調整により盛土の計画的な現場内流用を行い、コスト縮減に努めています。</p>			
対応方針 ： <p>以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>			
事業概要図			